

ユネスコ・クーポン制度について—科学技術者のために—

ユネスコ・クーポン制度とは、為替管理の壁をとり除いて、教育、科学、文化にかんする出版物（学会誌、学会費等を含む）映画フィルム、科学資料の輸入を容易にするため、ユネスコが実施している国際的な制度であって、この制度に加入している国に上記のものの代金を送るとき、ユネスコ・クーポンをわが国では円で購入して、これを先方の学会や商社に送ればよいのである。また外国からクーポンで代金を送ってきたとき、これを円で支払われることになっている。

ユネスコ・クーポンで購入できるものは次の品目であるが、研究用のものであり、先方がユネスコ・クーポンでの支払を承認し、審査をパスしたものに、クーポンを発行することができる。

④ 出版物

書籍、雑誌の予約購読、雑誌の各号、写真複写物、マイクロ・フィルム複写物、美術複製、美術複製の写真、チャート、地球儀、地図、楽譜、レコード、フィルム・ストリップ、学会の会費、論文別刷代等

⑤ 映画フィルム

上映用プリント、複写プリント、オリジナル・ネガティヴ及び複写ネガティヴ、映画をプリントするための16ミリ生フィルム、研究用フィルム等

⑥ 科学資料

1. 光学器械、部分品及び顕微鏡附属品  
顕微鏡、学生用及び研究用顕微鏡、分光写真機用及び分光器用装置、屈折器、偏光器、視準器、映写器、実物幻灯器、マイクロ、フィルム読取器、レンズ（写真用）、マイクロトーム（検鏡用薄切片切断器）、マイクロマニピュレーター等
2. 秤及び衡器  
研究室用秤、精密秤、分析秤、自動秤、マイクロバランス（細微秤）
3. 実験室用ガラス器、磁器製品及び珪土製品、目盛をつけたもの、その他
4. 電気測定器  
電流計、電位差計、ホイートストン式、ケルヴィン式、メゴム式ブリッジ（電気抵抗計量器）、アンメーター、ヴォルトメーター、オームメーター、オッシログラフ、オッシロスコープおよびその他電気実験器具
5. 分析用及び臨床用器具  
遠心分離器、滅菌装置、ガス分析器、水素イオン及

- び電気メーター測定器、血液検査器、カージオグラフ、ポラログラフを含む化学、生物学、物理学研究用器具及び補充品
6. 送風装置、真空ポンプ、ゲージ等
  7. ラチオの部分品と附属品及び電気器具  
チューブ、ワイヤー、ケーブル、抵抗装置、受接管、絶縁体、キャパシター、計量器及び電子記録器
  8. 温度計、恒温装置  
寒暖計、高温計、孵卵器、オーブン、水槽、温度調節器、熱量計、温度調節装置
  9. 小工場用手動器具と教育用及び実験室用機械工具手道具、旋盤、ミーリング、ドリル、グラインダー、研磨機等
  10. 気象器具、測量器、工学用器械  
気圧計、温度計、太陽気象学用器具、時間測定器、経緯儀、水準器、地震計、製図器
  11. 純粋化学薬品、培養基、写真感光乳剤
  12. 地図、海図、模型、スライドその他

（④）は購入額に制限はないが、（⑤）、（⑥）は一品目 \$ 2000. 0 までのものに限る。しかしユネスコ本部の許可があればこれ以上のものでもよい

ユネスコ・クーポンを使用できる国と種類は次のとおりである。

	(X) 使用可能	(一) 使用不可能	
	Book Coupons	Film Coupons	Coupons for Scientific Material
Austria	X	—	—
Belgium	X	X	X
Burma	X	X	X
Canada	X	X	—
Cambodia	X	X	X
Ceylon	X	—	—
Czecho-slovakia	X	—	—
Denmark	X	X	—
Egypt	X	X	X
France	X	X	X
German Federal Republic	X	X	X
Hungary	X	X	X
India	X	X	X
Iraq	X	—	X
Israel	X	—	—
Italy	X	—	—
Japan	X	X	X
Laos	X	X	X

Mexico	X	X	—
Netherlands	X	—	—
New Zealand	—	X	—
Saar	X	X	X
Sweden	X	X	X
Switzerland	X	X	X
Thailand	X	X	X
Tunisia	X	X	X
Turkey	X	—	—
United Kingdom	X	X	X
U. S. A.	X	X	X
Viet-Nam	X	—	—

ユネスコ・クーポンはどこで取扱っているかと云うと日本ではユネスコ・クーポン配給機関として日本学術振

興会（東京都台東区上野公園日本学術会議内 Tel (82) 4, 522, 4, 523) が指定されている。希望者は同会ユネスコ課に申請用紙があるから、申込みばよい。これに必要な事項を記入し、同会に提出すれば審査の上 (A) は毎日、(B), (C) は一週間に1回審査をする) これを公定相場による円貨でクーポンを販売する。その際購入者は同会に対しクーポンの購入額の4%の手数料を支払うことになっている。このクーポンに購入者の住所、氏名を記入して先方に送ればよい。

なおくわしいことは同会に説明書があるから、請求すれば送ってくれる。

〔書評〕 木内信蔵・中野尊正・竹内常行・矢沢大二著  
**地理年表 (1958年版)**  
 古今書院 B 6 版 286ページ 320円

地理学研究者・教育者・一般知識人を相手に編集された年表である。表は111、図は70で手頃にまとめられている。内容は、第1部自然地理・第2部人文地理に大別され、自然地理では、地球・海洋・山・氷河・低地・河川・湖沼・植生・土壌・災害・気候の各項目で39表29図、人文地理では、農業・牧畜・漁業・森林・鉱業・工業・国・都市・人口・貿易・交通の各項目72表、41図となっている。各項目の図表には、簡単な解説がついている。付録には、先史編年表・日本の国立公園・国土計画・地理学史年表などがある。

年表や辞典のたぐいは、長年座右において使ってみて、その真価がわかるものだから、いまここで批判をすることはさけておきたいが、少し気のついたことを書いておく。

まず、ある1つの事柄、たとえば、火山とか湖沼とか森林面積とか鉱産などの項目については、もちろんその分布が一方において問題にならないときは別だが、世界と日本とについて、それぞれまとめられていることが望ましいわけである。この世界と日本との重点の置き方が、人文地理の方は比較的良好にもたれているようだが、自然地理の方は、どうも世界の方に片寄っている気がする

る。たとえば、海洋の項には日本に関したものが何もないし、植生についても同様で、まとめるのが困難なのかも知れないが、それにしても何もないのは少しものたりない。

気候に関しては、世界と日本の気候表が15、気候図が種々とりまぜて20ある。気候表は世界と日本にわかれてかなり詳しいが、筆者の注文からいうと、月平均気温や月降水量などの数字は理科年表にゆずって、ケッペン記号などで、できるだけ多数地点の気候を記述した方が、利用価値も高いし、紙面の割付けにも有利のように思う。また、気候図の方は、日本に関したものが1枚もない。これも、日本で発刊する地理年表としてはどうかと思う。さらに希望をつけ加えると、たとえば、緯度別や、人文地理などには国別なども必要だろうし、要するに地域別の気候要素の統計の表があるとよい。

付表として地理学史年表があるが、これなどは地理年表としてもっと力を入れてほしかった。外国と日本と欄をわけて、安井算哲・西川如見や新井白石などの重要な人の名もでてくるように、日本のことも考えて編集していただきたい。

以上、いろいろ気のついた点の要望を書いたが、総じてみるに、高校程度の学習には便利で、使い道も多いと思う。今後、次第に改訂されてゆけば、理科年表におとらない、よいものになることは間違いない。

(吉野正敏)